

科目名	農業経営(基礎)	開講時期	1年生前期
		時間数	15
担当者名	教務課:吾郷、外部講師	単位数	1
科目のねらい	県農業の概要等を理解するとともに、農業全般及び経営に関する基礎的な知識を習得させる。また、農業法人についての基本的な知識を習得させる。「農大生の会社」運営に向けた取り組みとして、一般的な会社経営に係る基礎知識も学習する。		
到達目標	(1) 山口県農業に関する情勢等を理解する。 (2) 農業経営や農業法人等に関する基本的な内容を理解する。		
授業計画	授業内容・方法	時間数	講師
	1 農業を巡る情勢について ・山口県農業の概要	2	担当者 外部講師
	2 農業経営の基礎 ・農業に関連する基礎知識 ・農業経営のしくみ ・農業経営の理念や目標 ・農業経営管理	6	担当者
	3 農業法人等の取組みについて ・農業経営の法人化 ・農業法人の経営実践 ・会社経営(農業以外)	6	担当者 法人代表者 外部講師
	4 筆記試験	1	担当者
評価方法	(1)筆記試験(80%)、(2)授業態度等(20%)		

科目名	農業経営(応用)	開講時期	2年生通年
		時間数	15
担当者名	教務課:吾郷、農技C研究員、外部講師	単位数	1
科目のねらい	農業経営実践者から、農業経営の内容や管理方法等を聞き取り、実際に農業経営を行う上で必要な知識・能力を習得させる。また、「農大生の会社」運営に向けた取り組みとして、一般的な会社経営に係る基礎知識も学習する。		
到達目標	(1) 実践されている農業経営者の話を聞くことで就農に向けた認識を深める。 (2) 農業経営に必要な考え方やものの見方を知る。 (3) 農業経営に取り組む上での注意点等を知る。		
授業計画	授業内容・方法	時間数	講師
	1 農業経営管理について ・農業経営における経営者の役割 ・農業経営管理の考え方 ・財務諸表の見方等	6	担当者
	2 農業経営の現状について ・集落営農法人の取組み ・先進的な農業経営の取組み ・会社経営(農業以外)	8	担当者 農技C研究員 外部講師
	3 筆記試験	1	担当者
評価方法	(1)筆記試験(80%)、(2)授業態度等(20%)		

科目名	農業政策概論	開講時期	1、2年生前期
		時間数	1年(15) 2年(15)
担当者名	福田副校長、外部講師	単位数	1年(1) 2年(1)
科目のねらい	農業政策が立案される背景と、農業担い手に対する国、県、市町(JA)の支援策の概要を知る。また、それらを効果的に導入し、成果を上げている法人等を視察し、支援策の意義と実施する上での留意点を習得させる。		
到達目標	(1) 県、市等の主要な支援策の概要、目的について理解する。 (2) 法人への視察研修を通じ、状況に応じた支援策の選択、実施方法等の留意点を知る。		
授業計画	授業内容・方法	時間数	講師
	1 農業政策の意義と実行(施策)	2	担当者
	2 山口県農業情勢と各種施策について	4	外部講師
	3 県内各地域の農業概要、法人について	5	外部講師
	4 鳥獣害対策の取組について	4	外部講師
	5 林業の概要について	2	外部講師
評価方法	(1)レポート(50%) (2)授業態度等(50%)		

科目名	農業機械演習	開講時期	1、2年生通年
		時間数	1年(80) 2年(20)
担当者名	教務課:松永、就技室:鳥居、外部講師	単位数	1年(4) 2年(1)
科目のねらい	農業の担い手又は農業指導者として活動していくうえで必要な農業機械に関する基礎的な知識・技能を習得させる。		
到達目標	(1) 農作業安全に係る知識・技術を習得する。 (2) 農業機械の保守管理に関する知識・技術を習得する。 (3) 農業機械の基本的な操作方法に関する知識・技術を習得する。		
授業計画	授業内容・方法	時間数	講師
	【1年生】		
	1 農作業安全について(講義)	2	担当者 外部講師
	2 燃料の取扱い(講義)	2	
	3 エンジンの構造と分解・組立	6	
	4刈払機の安全使用と保守管理(講義・演習)	2	
	5 動力運搬車の安全使用と保守管理(講義・演習)	2	
	6 工具の取扱い(講義)	2	
	7 農業機械の公道走行(講義・演習)	40	
	8 ロータリー耕の基本(講義・演習)	10	
	9 農業機械(専攻別)の安全使用(講義・演習)	14	
	【2年生】		
	1 トラクターの保守管理(講義・演習)	6	担当者 外部講師
	2 農業機械(専攻別)の保守管理(講義・演習)	14	
評価方法	(1)筆記試験(後期)(80%) (2)講義態度(20%)		

科目名	GAP概論	開講時期	1年生前期
		時間数	15
担当者名	就技室:鍛冶原、園芸課:藤山、畜産課:關谷、外部講師	単位数	1
科目のねらい	GAPの基本的考え方や認証農場の取組事例を学ぶことで、GAPの必要性を理解し、実際の現場で実践できる知識を習得させる。		
到達目標	(1) 食品安全、労働安全に対するリスク評価と改善内容について理解できる。 (2) 農大のルールとGAP管理点の関連について理解する。		
授業計画	授業内容・方法	時間数	講師
	1 GAPの概要について(共通)	4	担当 外部講師
	2 食品安全のリスク(共通)	2	
	3 労働災害の実際(共通)	2	
	4 自己点検による農畜産物取扱施設等に潜むリスクと農大でのルールの実際(各課)	4	
5 認証農場の視察(共通)	3		
評価方法	(1)レポート(80%) (2)講義態度(20%)		

科目名	農畜産物利用演習	開講時期	1年生通年
		時間数	20
担当者名	教務課:星野、奥野、就技室:小林、	単位数	1
科目のねらい	農業者自らが自分の作った農畜産物の付加価値を高めることにつながる基本的な加工に関する知識・技術を習得させる。		
到達目標	地域農畜産物の基本的な特性理解とその加工技術及び知識を習得する。		
授業計画	授業内容・方法	時間数	講師
	1 農産加工の目的 加工販売に必要な条件	2	担当者
	2 農畜産物の加工特性について	8	担当者
	3 加工の実際 果実・野菜・大豆・小麦・牛乳・肉製品等	8	外部講師 担当者
	4 総括・試験	2	担当者
評価方法	(1)筆記試験(50%) (2)レポート(40%) (3)受講態度(10%)		

科目名	作物栽培演習	開講時期	1年生通年
		時間数	20
担当者名	就技室:河村、柴崎、教務課:松永	単位数	1
科目のねらい	水稻、麦類の栽培を通じて、生産に必要な圃場管理や栽培技術を習得させる。		
到達目標	水稻、麦類の基礎的な栽培管理技術を習得する。		
授業計画	授業内容・方法	時間数	講師
	1 水稻の栽培管理・生育の見方 (1)土づくり・耕耘 (2)水稻の栽培管理・播種 (3)田植え・雑草防除 (4)生育調査・幼穂形成期調査 (5)出穂期調査 (6)成熟期調査 (7)収穫 (8)品質・食味調査	16	担当者
	2 麦類の栽培管理・生育の見方 (1)麦の栽培管理・排水対策 (2)播種	4	
評価方法	(1)筆記試験(60%) (2)受講態度(40%)		